



人権 LH を行いました

6月28日（木）に講師として障がい者の方をお招きして、「僕はフィルムに救われた」という演題で講話をしていただきました。ご自身の障がいを「人との付き合い方が苦手」「コミュニケーションが難しい」という弱みがある一方で、「社会ルールをしっかり守る」「指示されたことはきちんと正確にこなす」などの強みもたくさんあるなどと自己分析し、また、自己理解されていました。

これまでの生き立ちを趣味のモノクロ写真撮影のことで通して詳しくお話していただきました。



右の写真のお話されている方は、付き添いで来校された相談員さん



生徒は、いつにもなく真剣に講師の方のお話を聞き入っていました。

【生徒の感想】

- 自分も人と話をするのはちょっと苦手なので（話の中で）確かにと思うところがありました。
- 自閉症の人は、一つのことに集中できることやコミュニケーションが少し苦手であることが分かった。
- 障害を持っていても、やるべきことをしっかりやり、人の役に立つことが大事だと改めて分かることができました。
- 共感ができる内容で、今までに一番関心を持った講義だった。そして、自分の苦手な部分を長所として生かすことで日々の生活で役立てられることが分かった。
- 何かをきっかけに活動するという事は素晴らしいと思いました。僕もきっかけに一つのことに取組めたらいいなと思いました。
- 私はこれからは、人とのつながりを大切に、誰とでも話せるようにしたいです。
- 年上でも、年下でも丁寧語を常用していることを見習いたいと思いました。
- 周り自分と違うと私は焦ってしまいます。周り違うのは、周りから「協調性がない」と思われてしまいそうで少し怖いですが、でも、周り合わせているのが多いと自分が無くなりそうです。「違う」というより「個性がある」方がいいです。
- 僕も苦手なことが多い。克服するには時間がかかるので、ゆっくり克服していったら苦手なことが少なくなるように頑張りたいと思った。
- 今日話を聞いて気づいたことは、どんな障がい者さんでも、その方なりに頑張って目標を決めて生活していることが分かりました。仕事などもできる事をしているところに、すごいと思いました。私たちのことを考えて、ラジオ番組などに投稿していることに嬉しく思いました。私も敬語をきちんと使っていきたいです。
- よく怒られたり、考えが甘いといわれたりするので、自分に厳しくきめられたことはしっかりやろうと思った。まだ、人生はこれからなので、もっとたくさん色々なことを経験して成長していきたい。
- 今日、講師の方の話を聞いて、今わからないことが、大人になるにつれて、分かっていって身につくんだなと思ったし、自分もこれからもっと努力して頑張っていきたいと思った。
- 長く時間をかけることにより融通が利かなものが少ましになることが知れた。自分でも努力していくことが大切。